



寮生のつながりを地域のつながりへ 和歌山大学男子寮生団体「TEE'S」

和歌山大学には、県外から入学した学生たちが入居できる3棟の寮があることをご存じでしょうか。1棟は女子寮、2棟が男子寮です。このなかで、「男子寮を楽しくおもしろくしたい」という志を持ち、寮の活性化のため活動する、和歌山大学経済学部2回生の田島寛也さんが代表の「TEE'S」を紹介します。



(上) ツナヒキ Night のチラシ
(右左) TEE'S のメンバーのみなさん
(右) ちびっ子忍者企画参加者のみなさんと記念撮影!

ツナヒキ Night 2013
日程 11月9日(土) 14:00～20:00
場所 ぶらくり丁商店街アーケード
内容 つなひき王者決定戦、わらしべ長者 GAME、バスケットピンポン大会、和歌山大学紹介ブースなど



外部に向けて、寮の良さや多彩な才能を持つ寮生たちの存在をアピールしたいという気持ちもあり、企画案やボランティアには積極的に参加してきました。今後は、団体としての活動を、寮の活性化に重点を

11月9日には、メンバーである経済学部2回生の和島一朗さんが実行委員長の「TUE'S」から「スピノフイベント」を開催し、多くの学生が参加し、大いに盛り上がりました。11月9日は、是非ぶらくり丁へ行ってみてください。(金 宏美)

寮生の仲の良さを地域活動でも
和歌山大学が現在地に移転したのは85年前。寮で暮らす学生は和歌山市の中心地であるぶらくり丁で、寮祭のひとつ「土人パフォーマンス」等を披露するなど、地域との繋がりを大事に活動してきたそうです。団体名の「TEE'S」とは、和歌山大学にある4つの学部の頭文字をとってつけた名前。昨年、ぶらくり丁にある「みんなの学校」スタッフと出会ったのがきっかけで、「ちびっ子忍者企画」などに参加し、地域との関係を築き、繋がりを強化してきました。忍者のイベント時は、年に一度の寮での大きなイベントの準備や開催があったり、アルバイトや部活などあったり、と大変でしたが何とか調整してボランティアとして参加子ども達の喜ぶ笑顔に感動したそうです。



企業の商品でNPOの活動を支援！寄付ができるパン「キフパン」第2弾登場！

御坊市に本拠地をおく子育て支援サークル「HML (ハミル)」と、同じく御坊市に本店があるパン屋さん「ボナベティヤナギヤ」がコラボレーションし、売り上げの一部がHMLの活動資金になる「キフパン」。くるみ&ピーズ、じゃこ&チーズの2種類が登場した第1弾は大きな反響を呼びました。そして先週からついに第2弾が登場！ヤナギヤにおうかがいして、製品を取材してきました。



ボナベティ・ヤナギヤ御坊店にてHMLの中道さん(左)・松山さん(右)・細川店長。「たくさん作って、たくさん売れて、地域のために取り組んでいるHMLのためになれば」と細川店長。

問もなく販売開始!
キフパン第2弾「カシコナーレ」は11月3日の「パインステージ」で初お披露目。9日から毎週土曜日、ヤナギヤ御坊店

NPOの悩みの一番は「資金」
HMLは子育て支援グループとして、子育て中の母親・父親が笑顔でいられるよう、地域密着型の活動を展開しています。2年前からは子どもたち自身が人権意識をしっかりと持ち、いじめや虐待、性暴力などあらゆる暴力から自分を守っていくための知識やスキルを伝えていくCAP(子どもへの暴力防止)プログラムの普及活動にも取り組んでいます。11・12年度は和歌山県の事業採択も受けるなどしましたが、今後活動を継続させていくには活動資金が大きな課題となっていました。これはNPO全般にもいえることで、和歌山県NPOサポートセンターの調査では県内の6割のNPOが「活動資金が課題」と挙げています。HMLでは他地域の先行事例を参考に、「寄付つき商品」の開発を目指すこととなり、「ヤナギヤ」が協力してくれることになりました。

「キフパン」
ヤナギヤは食材には妥協せず、こだわりのパンやお菓子をつくることをモットーとしています。中途半端な商品はつくれません。HMLからは「子どもも十分な栄養を摂れるパンを」というニーズが出され、共に試行錯誤の結果、第1弾のキフパン「カシコナーレ」が誕生しました。「かしの」と和歌山弁「かしこ」をもじった「カシコナーレ」の名称も手伝って反響を呼びました。



カシコナーレ THE カリー。大きめに刻まれた野菜とチーズがまるやかな甘さを引き出しています。

1ヶ月の試行錯誤を経てできた試作品を実際に食べた子どもたちからは絶賛の声があがり、HML・ヤナギヤ双方のスタッフは自信を深め、満を持して11月から販売をすることにしました。

は親子で楽しめるカレーパンとの差別化を図るために、揚げずに焼くことでよりヘルシーに。具材も野菜を大きめに角切りチーズを混ぜることで甘みがアップするとともに栄養面でも有利に。そしてサイズを少し小さめにすることで価格を1個100円に抑えて子どもに小遣いでも無理なく買えるように配慮しました。

みんなで作る情報板 わかやまイベントボード

- 第3回大新竹燈夜**
5000本のローソクが10ブロックにわかれて灯されます。
日時 11月2日(土) 18:00～20:00
場所 和歌山市大新公園
内容 生け花オブジェ、いちいやよ子さんの朗読、16本の竹スピーカー、ローソク絵など
参加費 無料
問い合わせ 和歌山市大新地区公民館 (073-422-4534)
- オレンジリボンフェスタ**
子どもの虐待防止啓発運動として、県内2回目のパレードとステージイベントを開催。
日時 11月3日(日) 12:50～14:00
場所 和歌山マリーナシティ紀ノ国フルーツ村前特設ステージ
内容 演奏(バナナバンド)、泰万里子コンサート、ゆるキャラ(きいちゃん、吉宗くんなど)とのパレード
参加費 無料
問い合わせ NPO 和歌山子どもの虐待防止協会 (073-425-6626)
備考 雨天時はわかやま館にて開催。
- 和歌山社会経済研究所・平成25年度講演会**
日本経済の現状と展望及び今後の和歌山の活性化に必要な施策等について、わかりやすくお話いただけます。
日時 11月5日(火) 13:00～14:30
場所 ダイワロイネットホテル和歌山4階「グラン」
講師 伊藤元重さん(東京大学大学院経済学研究科教授、総合研究開発機構理事長)
参加費 無料(事前申込み必要)
問い合わせ・申込み 一般財団法人和歌山社会経済研究所 (TEL 073-432-1444、FAX 073-424-5350)
- 行列のできる講座の企画とチラシのつくり方**
講座やイベントへの集客や広報に対する悩みの解決策を考えます。
日時 11月8日(金) 13:30～16:30
場所 NPO・ボランティアサロン(フォルテワジマ6階)
参加費 無料(事前申込み必要)
定員 市内のNPO・ボランティア団体のスタッフ30名
問い合わせ・申込み 和歌山市民協働推進課 (073-402-1213)
備考 Word2007以降が使えるノートパソコンを持参。